

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 727

政策体系	25	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 4. 資料館 現年		
事業名	資料購入費				
細事業名	資料購入費				
評価表作成者				教育委員会 社会教育課	井尻 智道

1. 事業の概要

南丹市に関連する資料を購入する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

散逸している南丹市関連の郷土資料を購入し、市の財産として市民を含め多くの利用に一般公開するため。

② 事業を実施する必要性

南丹市に関連する郷土資料については、市の歴史や文化を示す貴重な資料となる。このため、可能な限り、収集し、市民の観覧や調査等に供する必要がある。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	737	818	602	253	253	253	253
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	737	818	602	253	253	253
職員等の従事人員	人/年	—	0.15	0.25	0.25			
人件費	千円	—	567	833	879			
事業費総額	千円	—	1,385	1,435	1,131			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

消耗品費 42,600円
 資料購入 210,000円(備品購入費)

5. 事業結果の概要

鉄道関係資料、郷土出身画家の作品収集 他

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

郷土資料を購入するにあたり、どの資料を購入することが最も効果が大きいかを検討する必要がある。
購入する郷土資料については、市の財産として今後活用できる。
南丹市にとって必要な資料が計画的に購入できるよう具体的な購入計画を立てる必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

郷土資料を購入するにあたり、どの資料を購入することが最も効果が大きいかを検討する必要がある。
購入する郷土資料については、市の財産として今後活用できる。
南丹市にとって必要な資料が計画的に購入できるよう具体的な購入計画を立てる必要がある。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
郷土資料を購入するにあたり、どの資料を購入することが最も効果大きいか。
- ②当該事業のアピール事項
購入する郷土資料については、市の財産として今後活用できる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
南丹市にとって必要な資料であっても、現在の予算では、購入が難しいものもある。資料の購入にあたっては、予算確保が必要である。